

議会だより



吉野ヶ里

26号

平成24年
12月定例会



平成25年吉野ヶ里町成人式(きらら館)

- 新年のごあいさつ・議員今年の抱負…………… 2
- 12月定例会 …………… 3
- 補正予算質疑応答 …………… 4
- 意見書・議会活動調査特別委員会 …………… 5
- 議案賛否状況 …………… 6
- 一般質問 …………… 7-18
- 常任委員会研修報告 …………… 19-20
- 編集後記…………… 20

【編集・発行】

佐賀県吉野ヶ里町議会

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321-2

TEL 0952-37-0338

【印刷】ビッグサムティ&ピー【発行年月日】平成25年1月31日

議会会議録がインターネットで見られます。

吉野ヶ里町のホームページ <http://www.town.yoshinogari.saga.jp/>

にアクセスし「吉野ヶ里町議会」「吉野ヶ里町議会会議録」をクリックしてください。

新年のごあいさつ



吉野ヶ里町議会議長
大隈 正道

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

さて、昨年は政治が暗い中、ロンドンオリンピックでの日本選手の活躍、また山中教授のノーベル医学・生理学賞を受賞などのニュースが私たちを勇気づけてくれました。

十二月に行われた、衆議院議員選挙では、佐賀県二区の選挙区で今村議員が当選、大串議員も比例復活で当選されました。これで佐賀県内からは、衆参合わせて七名の議員となり、皆様の今後のご活躍を願うものです。

議会では、議員自ら襟をただし、この町に必要な議員として住民の皆様への付託にどのように応えていこうかと議会改革特別委員会を設置し、真摯に話しあっています。

吉野ヶ里町に住んで良かったと思えるまちづくりのため、今年も議会一同頑張ります。

皆様にとりまして、本年が実りある飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

平成24年12月定例会 補正予算

- 衆院選専決 7,826千円
- 体育施設費△2,653万円
- 公債費 151,492千円

一般会計補正予算 1億7,122万円追加
総額 74億3,827万5千円

12月定例会は12月6日から14日までの会期で開催された。提案理由の説明のあと、12人の一般質問、条例改正など11議案を審議した。

専決処分
12月議会に提出された議案は、専決処分一件、条例関係四件、補正予算三件、意見書一件、が等審議され、全ての議案が可決された。

条例改正

吉野ヶ里町空き家等の管理に関する条例
町内の環境、倒壊等の事故、防犯、火災等の防止、安全で安心な暮らしの実現に寄与し空き家等の管理の適正化を図るため。

注釈（専決処分）

本来、議会の議決決定を経なければならぬ事柄について、自治法の規定に基づき議会の議決決定の前に自から処理すること。国会の急なる解散により時間的余裕がなく、衆議院議員総選挙の費用を専決、選挙費は全額国の負担です。



町内空き家13戸。毎年増えている

議員 今年の抱負

多良 正裕
『有言実行』 課題山積の吉野ヶ里町、このまま見過ごす訳にはまいりません。解決に向け行動を継続します。

中島 哲夫
安心安全な町づくりに向けて頑張ります。

筒井佐千生
巳 年男。くねくねと、巳(実)のある年になるよう日々努力します。

城島 敏行
よりよい未来のため安心できる行政を求めたいと思います。

一意専心

吉富光三郎
巳 町議になって3年。後一年となりました。今年も町の発展に頑張ります。

伊東 健吾
早いもので任期最終年になりました。町とも財政厳しくなりました。町づくりは、建物づくりだけでなく町民皆様が求められる心豊かになれる町民福祉充実のため努力します。

手塚 隆美
吉野ヶ里町農業再生カントリーエレベーター建設に全力投球

中島 正晴
打破 迷走し決まらぬ片寄った予算配分を打破するため、全力を傾けます。

馬場 茂
来春は審判を受ける年。最後まで初心を忘れず努力してまいります。

古川 勲
「任んでよかった吉野ヶ里町」と言われる町づくりの為に、更なる努力をしていきます。

伊東 和孝
今年巳年。蛇は脱皮を重ねて生長します。本町においても変革・議論を重ね、行政改革を推進します。

多良 光英
初心忘れず「住みたい町づくり」に邁進いたします。

立石 良雄
民意に従い、信なくば立たずを信条として言行一致、信念を貫き、次世代のため徹底した行政改革と情報公開を推進します。

吉野ヶ里町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正する条例
人事院の勧告に伴い、国に準じ町条例の改正小学校就学を中学校就学に改める。

吉野ヶ里町証人等の実費弁償に関する条例及び吉野ヶ里町議会委員会条例の一部を改正する条例
地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う改正

吉野ヶ里町ひとり親家庭等医療費助成に関する条例等の一部を改正する条例
災害共済給付を医療費助成額から控除する。

規約変更
佐賀中部広域連合規約の変更について 障害者自立支援法の改正に伴い、障害保健福祉施策を講ずるための整備。

佐賀県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
住民基本台帳の一部改正に伴う、出入管理、難民認定法及び日本国との平和条約に基づく一部改正。

訴訟
訴訟の提起について
平成15年2月旧東脊振村が土地賃貸借契約した土地三津706番地1の契約期間満了、地代、原状回復等の請求を賃借人に対し請求する。

補正予算
平成24年度吉野ヶ里町一般会計補正予算（第5号）
歳入歳出それぞれ、1億7,122万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ、74億3,827万5千円とする。



Q 税収の過小見積りは、今日の国、地方財政厳しき時もっと慎重なる見積を。

A 企業退職者個人税など今回多く補正額5000万円など多くなった、地方交付税、国が有提供施設等所在市町村助成交付金615万3千円が増えた。

Q 臨時職員賃金、不用となった理由、正規職員は少なくなっているが、臨時職員は多くなっているのか。

A データー入力3か月を継続せず、職員で努力し3月までやるようにした。

Q 早期退職奨励金の割増し率は、また退職金の支払いは全額本人に支払われているのか。

A 割増し率は年額2%で2名の3年分です。支払いは退職手当組合の計算により全額支払われている。

Q シャンボタニ助成金の実績は、ま

補正予算

質疑応答

たその効果、そして今後の計画は。

A 実施面積は200haで効果は生産組合で確認したが、他に良い方法がなく、今後研究し次年度も継続して行きたい。

Q 町道修繕工事費250万円の施工予定箇所はどこか。

A 施工場所は寺ヶ里、永田ヶ里、新坂横田線の3路線を早急に修繕したい。

Q 高床式倉庫改修設計管理委託料52万5千円はどのような計画か。

A 修繕工事を予定していたが、基礎部の腐食、耐震等検討し大きな費用がいれば、撤去もありえる。



▲町道補修工事

Q 農村整備モデル水路整備工事365万7千円補正の理由と施行箇所は。

A 工事場所は目達原郡境の水路工事です。3か年計画で実施している。延長500mと長く、仮設鉄板リース料等考え単年で終わり地元負担の軽減を図るため、今回の



▲農村整備モデル事業目達原施工地区

補正をした。

Q 児童体育館大規模改修工事、予算減額2653万9千円の内訳はどのようなになっているか。

A ステージ幕当初460万円計画が128万円で施工、工事入札減等により減額補正となった。

Q 脊振共同塵芥処理組合運営費負担金、収集負担金49万1千円減について。

A 前年度実績による精算金確定によるものである。



児童体育館大規模改修工事完了

追加議案

平成24年度農業集落排水処理事業箱川地区処理施設機能強化対策機械及び電気設備工事請負契約の一部変更について。

変更における議会の議決を求める。
契約金額4987万5千円を5274万1千5百円とする。
増2886万6千5百円。



農業集落排水処理事業箱川地区処理施設機能強化対策・機械・電気設備工事

特別会計 補正予算

平成24年度吉野ヶ里町下水道特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ195万5千円を減額し、歳入歳出の総額を8億9139万7千円に抑える。

意見書

義務教育費国庫負担制度拡充を

平成23年4月、改正義務標準法が成立し、公立小学校一年生の35人以下学級が実現、30年ぶりの学級編成標準の引き下げで、少人数学級の完全実施への第一歩となった。

OECD諸国に比べ、日本では1学級当たりの児童生徒数や、教員1人当たりの児童生徒数が依然として多い。一人ひとりの子どもに丁寧な対応を行なうためには、1クラスの学級規模を引き下げることが必要である。

子どもたちが全国どこに住んでいても、均等に一定水準の教育を受けられることが、憲法の要請である。しかし、教育予算について、GDPに占める教育費の割合は、OECD加盟国の中で日本は最下位となっている。

分の1から3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫している。将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要である。未来への先行投資として、子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・就業の拡大につながる必要がある。こうした観点から、平成25年度の

広域消防の動き

26年度吉野ヶ里出張所開設

平成24年1月11日佐賀中部広域連合消防事務の共同処理(消防の広域統合)するため、消防事務に関する基本合意書の調印が行われ、25年4月1日より統合される。

統合事項の「署所配置の基本方針」の中で、吉野ヶ里町に出張所を新設することになっており、

政府予算編成において、左記の事項が実現するよう、強く要望する。

記

- 1、少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級にすること。
- 2、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に還元すること。

であり、神埼地区消防の合理化に伴い出張所が廃止された後、東脊振村に譲渡され多目的に利用されていた施設である。

25年度事業として、拡張用地の造成工事及び現建物の解体工事を町で行い、26年度中に吉野ヶ里出張所が建設されることになっている。また、建設費は10%を町が負担し、残り90%は構成市町(佐賀中部広域連合)で負担することになっている。

なお、リサイクル業務については、当分の間「きらり館」北側車庫を利用することになる。



▲広域消防吉野ヶ里出張所建設予定地

議会活動調査特別委員会

議員定数12名 委員会でも可決

平成23年3月議会において、議員の定数、報酬、及び議会活動等を改革するため「吉野ヶ里町議会活動調査(議員定数等改革)特別委員会」が発足し、今年1月18日まで都合10回の委員会を開き議論してきた。

昨年11月26日の委員会で議員定数について集中審議を行い、定数12名とすることが賛成多数で可決された。

全委員定数削減に異論はなかったが、定数を何名にするかについては、14名、13名、12名の意見が出され、激論が展開され、3名減となった。

次回からは、議員報酬、議会活動に関するところなどが議論される。

今後のスケジュールとして、改革案を委員会で採決し、公聴会に諮った後に条例、規則改正等の議案を今年9月議会を目

途に議決する運びとなる。

※第1回目の委員会において、議会改革に関する条例、規則改正等は、平成24年6月を目標に協議することにしたが、議会基本条例等の制定には、十分な調査研究が必要であり延期した。

議会基本条例とは

議会での議論を活発にすること、議会の情報を住民の皆様へどのように伝えていくかである。

具体的には、町長の反問権、議員間の自由討議、議会報告会、議員の政治倫理、町民からの政策提案、一般質問の一回一答方式、議会中継、傍聴席の拡大等である。

十分な調査・研究を行い、吉野ヶ里町に適した「議会基本条例」を制定するため、熟議していきたい。

案件賛否状況

第4回(12月)定例会										
結果	承認	可決								
少人数学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	可決	14	0	0	0	0	0	0	0	0
平成24年度農業集落排水処理事業箱川地区処理施設機能強化対策機械及び電気設備工事請負契約の一部を変更することについて	可決	14	0	0	0	0	0	0	0	0
平成24年度吉野ヶ里町下水道特別会計補正予算(第3号)	可決	14	0	0	0	0	0	0	0	0
平成24年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	14	0	0	0	0	0	0	0	0
平成24年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第5号)	可決	14	0	0	0	0	0	0	0	0
訴訟の提起について	可決	13	1	0	0	0	0	0	0	0
佐賀県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決	14	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀中部広域連合規約の変更について	可決	14	0	0	0	0	0	0	0	0
吉野ヶ里町ひとり親家庭等医療費助成に関する条例等の一部を改正する条例	可決	14	0	0	0	0	0	0	0	0
吉野ヶ里町証人等の実費弁償に関する条例及び吉野ヶ里町議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	14	0	0	0	0	0	0	0	0
吉野ヶ里町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	14	0	0	0	0	0	0	0	0
吉野ヶ里町空き家等の適正管理に関する条例	可決	14	0	0	0	0	0	0	0	0
専決処分の承認を求めることについて【平成24年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第4号)】	可決	9	5	0	0	0	0	0	0	0

※議席番号順 ○=賛成 ●=反対 欠=欠席

町政へ物申す

次頁から「一般質問」に12人が激論

町の総合計画満足度は落第点 責任は

【副町長】 満足度調査の結果を踏まえ取り組み

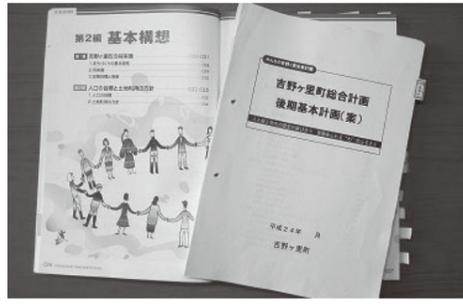


多良 正裕 議員

問 よりよい町に生まれ変わるため合併したはずなのに、合併しないほうがよかったとの声が寄せられるようになった。

住民の皆さんと約束したまちづくり計画「吉野ヶ里町総合計画」の前期5年が終わり、後期計画に向けたアンケート調査や前期の事業達成状況調査が行われたが町長は前期5年を振り返りどのように評価され自己採点は何かと思われるのか。

町長 子供からお年寄りまで笑顔で心身ともに健康な暮らしができるよう取り組んだ。アンケートはもう少し数値がほしかった、自己採点は住民や議会が行われると思う。



▲計画だけで終わるのか 吉野ヶ里町総合計画 後記基本計画(案)

問 住民アンケートや職員による事業達成調査を分析すると町長は30点の落第点である。

答 理由は、計画自体がコンサルティング任せで役場の取り組み意欲が見えないと指摘されていたにも関わらず、毎年見直す3年間の実施計画書も十分で一度も内容の公表が住民に行われていない。分析結果は、まちづくりの基本である子供の教育環境、生涯学習、スポーツ、農林、商業、消費

者対策、バス、情報推進、

理由は、計画自体がコンサルティング任せで役場の取り組み意欲が見えないと指摘されていたにも関わらず、毎年見直す3年間の実施計画書も十分で一度も内容の公表が住民に行われていない。

問 経常収支比率 県内で最低 町長は責任を感じないのか

平成25年度は、計画の初年度であり、ダム事業の確定を行うなど多くの重要な問題が山積している、一方では合併に伴う交付税の削減が迫るなど財政計画をしつ

り立てなければならぬ年でもある。行政改革推進委員会の議事録を読むと、これまで多くの指摘や意見が出されているにも拘らず対応状況の報告がなされないまま毎年開催されてい

るよう読み取れる、委員の意見に対する行政の誠意のなさを強く感じる。経常収支比率は県内で21年度ワースト3、23年度はワースト1の最低で、なぜ毎年悪化していくのを放置したのか、町長始め危機感の無さである。



▲景観を考えるべき電柱の新設

問 メガソーラーの電柱新設は反対すべき

合併前の東脊振村では吉野ヶ里遺跡周辺の景観を保つため国道385号沿いの電線は地下埋設し電柱をなくすまで言われていた、看板類も規制し撤去するなど努力し取り組んできたが合併後、景観規制は

放置状態である、景観条例はあるが規則も区域も未だに定めていない、より良い景観づくりに町としてこだわりはないのか。

メガソーラー建設に伴い県道佐賀川久保鳥栖線、国道385号沿いに新たに電柱が設置される計画には反対すべきである。9月議会では送電線設置に伴う景観には配慮するよう申し入れたがまだで答弁されたが行ったのか。

答 町長 できるだけ来ないよう努力したが、今後は県に願うこともあり協力していきたい。

南部、北部バランスの取れた事業推進をすべきでは

【町長】南部、北部と意識していない



伊東和孝 議員

問 合併後7年が経過しようとしているが、7年間の事業推進を見ると、南部（旧三田川）北部（旧東脊振）を比較すると、南部の事業に片寄っているのではないかと。財政課長 全体の43・3%が南部、42・6%が北部となっており、全域にかかるのが14・1%となっている。

答 合併特例債利用の事業推進を見ると、あまりにも、南部の事業費に利用されている。北部、南部のバランスの取れた事業推進をすべきではないか、住民は良く見ている。

問 7年、北部、南部という見方でなく、町全体として見てほしい。

答 合併特例債利用が、平成27年度までとなっているが、今後の利用計画は、どのように考えているか。

問 北部の事業費のうち、五ヶ山ダムに關係する、水源地域振興事業が入っている。この事業は、合併前より事業が決まっているものである。

答 この事業を外すと、52・6%が南部、30・2%が北部である。

旧三田川と旧東脊振の事業推進比較（事業費10,000千円以上）

旧三田川	旧東脊振	全 域	合 計
4,928,000千円 43.3%	4,842,000千円 42.6% (2,019,000千円) (水源地域事業)	1,608,000千円 14.1%	11,378,000千円 100%
4,928,000千円 52.6%	2,823,000千円 30.2%	1,608,000千円 17.2%	9,359,000千円 100%

合併特例債利用額比較

旧三田川	旧東脊振	全 域	合 計
1,289,000千円 70.0%	321,000千円 17.4%	231,000千円 12.6%	1,841,000千円 100%



▲下段8000mの空き地の写真

問 山茶花の湯周辺整備について、進入道路周辺が未整備である、観光地として、整備すべきではないか。

答 町長 竹がたおれたりしているのので課内協議して、整備していく。

問 下段8千mと2千mの平地があるが、現在残土置き場となっている。約2年が過ぎ、景観も悪い。現状では、

問 山茶花千坊館について、オープン7年目であり、以前も質問したが、リニューアル計画はどのようになったか。

答 副町長 JAよりリニューアルの要望もあっている。予算を含めて検討していきたい。

問 来年3月には、五ヶ山ダム佐賀大橋が開通する。福岡市よりの来客も多くなると予想する。駐車場拡張も考えなければと思うが。

答 町長 現在年間通して満車になるのは、数日と聞いている。将来的に向って検討したい。

農業集落排水処理施設 統廃合計画の関係地区への説明は



筒井 佐千生 議員

【環境課長】今後説明をしていく

問 南部の下水道設計区域と、北部の農業集落排水処理区域が接近していること、農業集落排水区域の汚水量の増加と、施設の老朽化による経費の節減を図るために統合計画が進められているが進捗状況は。

答 環境課長 約5千万円の費用効果があることで、3処理場を補助金返還なしに処分するため、長期利用財産処分報告書を今年7月農政局へ提出、11月に都市計画決定の事前協議資料を県に提出した。

問 前川処理場は大曲地区へ、横田処理場は農業用水路へ処理水を農業用水として還元されているが、関係地区への説明は。

問 曲地区へ、横田処理場は農業用水路へ処理水を農業用水として還元されているが、関係地区への説明は。

問 環境課長 関係地区の実施設設計を行う。

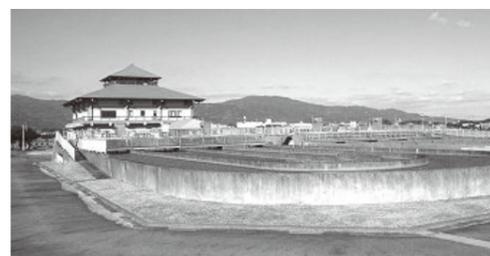
問 平成25年4・5月で下水道法の事業認可申請、都市計画法の事業認可申請を行い、25年度中に処理場増設及び、接続管渠の実施設設計を行う。

問 前川処理場は大曲地区へ、横田処理場は農業用水路へ処理水を農業用水として還元されているが、関係地区への説明は。

問 環境課長 関係地区の実施設設計を行う。

問 環境課長 関係地区の実施設設計を行う。

問 環境課長 関係地区の実施設設計を行う。



▲下水道浄化センター

問 環境課長 規模が大きくなるので管理運営会社の時間の延長、増設工事計画の中でリスク回避をどのようにするか協議を進めたい。

問 環境課長 規模が大きくなるので管理運営会社の時間の延長、増設工事計画の中でリスク回避をどのようにするか協議を進めたい。

問 環境課長 規模が大きくなるので管理運営会社の時間の延長、増設工事計画の中でリスク回避をどのようにするか協議を進めたい。

年度	発生量	処分場覆土	アスファルト合材	コンクリート二次製品	埋戻し材(浄化槽等)	その他	合計
平成19年	233	214	0	0	0	0	214
20年	1,091	186	379	3	153	0	721
21年	1,479	147	310	7	6	8	478
22年	1,345	0	417	168	88	57	730
23年	1,686	0	289	152	968	6	1,415
24年4月~10月	1,084	0	137	225	98	40	500
計	6,918	547	1,532	555	1,313	111	4,058

問 町長 製品の割りに高い。



立石 良雄 議員

行財政改革について

財政硬直化を示す経常収支比率が93.9%と非常に高く、県内ワーストワンである。...

経常収支比率が93.9%と高く、県内ワーストワンである。住民負担を増大させる前に特別職の給与カットを実施し、町民の理解を得よ!!

【町長】特別職の給与は特別職報酬等審議会に諮り決定している

近隣の町は、職員数を削減、特別職の給与、管理職手当等のカット、職員給与の定昇ストップ等を実施。...

と聞く。議会改革特別委員会は定数15名を12名にするという案をほぼ決定しているが、町は住民への負担を余儀なくさせている。...



▲葬祭公園建設予定地

の民営化についても、平成22年6月から問うてきたが何も進展していない。...

ドバイザーであるコンサルタントの意見を重視、建設候補地をA地区と決定しようとしている。...

望んでいる中、費用負担を比較して実施すべきである。負担上の問題では、神埼市、吉野ヶ里町葬祭公園整備より、三養基西部葬祭組合への加入が早く加入でき、費用についても、概ね5億円の負担が人口割で1億6千万円...

町長 特別職の給与は特別職報酬等審議会の中で決定されている。

町長 葬祭公園については、建設委員会を隠れ蓑とし、建設ありきで事を進め、ア...

尚、全体計画の中で、取り付け道路、その他のインフラ整備については、各々の市、町が持つべき負担する費用の仕分けが大事である。

家を解体した非課税世帯に、固定資産税を2年〜3年免除はされないのか。

【税務課長】税の公平性から見て、考えていない



城島 敏行 議員

空き家等の適正管理に関する条例

第10条の助成で、助成金交付要件は、非課税所帯であることが条件になっているが、仮に家屋30坪を解体しますと、解体費用が約54万円となります...

また、家を解体しますと、更地になり固定資産税は高くなる。非課税世帯に高くなった税金を払うことができるのか？

税務課長 住宅を壊されて更地にすれば、住宅用地特例の適用から外れることになり、土地が接している道路、面積、形状によって差はあるが、約3倍高くなる。

町長 特別職の給与は特別職報酬等審議会の中で決定されている。

町長 葬祭公園については、建設委員会を隠れ蓑とし、建設ありきで事を進め、ア...

多目的広場は、整備は、北、南、出入口は門扉の設置はなく、24時間自由に入出入りできる状態となっている。

災害時の必需品 備蓄は

災害時の必需品 備蓄についてです。東日本大震災被災地では、水、食料品、粉ミルク、紙おむつ、生理用品、毛布の手配に苦労されたそうです。

町長 特別職の給与は特別職報酬等審議会の中で決定されている。

町長 葬祭公園については、建設委員会を隠れ蓑とし、建設ありきで事を進め、ア...

多目的広場は、整備は、北、南、出入口は門扉の設置はなく、24時間自由に入出入りできる状態となっている。

総務課長 避難所

総務課長 避難所におきまして、災害支援型の自動販売機を設置している。



▲災害時に水が無料となる自動販売機

社会教育課長 進入口には、車両進入防護柵を設け、鎖内蔵タイプの埋め込み式支柱を建てる。



吉富 光三郎 議員

スポーツゴミ拾いの開催は

【社会教育課長】平成25年度の計画の中で検討している

問 町内外から参加できる、町の隠れた各所を巡るウォーキング等の取り組みの考えは。

答 町内外から町に来られ、知っていただくため、毎年、年2回春と秋にJR主催、町協力でJRWウォークを開催している。

問 平成7年3月から21年3月まで県主催で15回開催された「菜の花マーチ」があり、県内はもとより県外からも参加され盛り上がりがあった。しかし、マーチという形での発信終了、佐賀県観光の情報発信の必要性がなくなったとの理由から終了となったが、我が町でも、九州歩道を活かしたウォーキング、蛤水道や霊仙寺跡など歴史・文化を学ぶウォーキ

ングを町独自でやれないのか。
市町では、船に乗るなど一味違う「棚田ウォーク」(唐津市肥前町)、酒蔵でのコンサートも楽しめる「小京都小城ホテルの里ウォーク」(小城市)など開催されている。吉野ヶ里夢ロマン軽トラ市とのコラボ、4年前から行われているゴミ拾いをスポーツとして楽しむ「スポーツゴミ拾い」の「コラボなど、健康面、教養、ふれあいを重視したウォーキング、住民が家族ぐるみで参加できるイベントを開催できないか。

答 社会教育課長 スポーツ「ゴミ拾い」は承知している。25年度計画、社会体育の事業として検討している。

問 町長 健康、交流、出会いを大切にしている。合併当時から、歴史探訪、伝統、伝承、交流を目的とし心身ともに健康につながり、健康寿命が延び、医療削減に

もつながら、大変に良い事だと思つた。
新年度に向け、教育委員会、保健課と協力して進めていく。

青少年のスポーツクラブの町の対応、支援は

問 多目的グラウンドは早朝から夕方まで、数多く利用されているが、土、日利用があまりできない少年スポーツクラブがあると聞く。他の市町のグラウンドを

有料(1時間500円)で借り、土、日に練習試合、練習をされている。多目的グラウンドの利用状況、予約、キャンセルなど、様々な点で、今後体制、システムを変えていく必要があると思つた。

答 社会教育課長 今後、調整していく。青少年スポーツの保護者、指導者は勝ちたい、勝たせたいと思いで、毎日でも練習させたいと希望されますが、青少年



▲学校のグラウンドであって子供達が自由に使えない芝生のグラウンド

スポーツの子供たちは体も未発達で、体が過度の練習に耐えられない体力であると思つた。骨折、捻挫、脱臼などスポーツから過度の練習によりスポーツ障害、肘を痛めたり、肩

を痛めたり、腰を痛めたりと言う事で当然練習を休む休養する事も練習の一つだと思つた。
それで、現在青少年スポーツクラブの週の活動日数を調べた結果、週2日が1団体、週3日が9団体、週4日が4団体、週5日が1団体と多くても週に4日から5日と必ず休養日を取りながら練習している状況。

問 三田川小学校グラウンド利用は、少年サッカーがリーグ戦の時だけ利用、スパイク使用の為、芝が傷むとの事で年に数回だけで、ほとんど利用できない状況、小学校のグラウンドであつて、制限される状態。

答 町長 他の利用を含め検討していく。

町三役の退職金減額は時代の要請

【総務課長】市町総合組合の条例に基づき支給



中島 正晴 議員

由があるところである。

問 町単独で勤奨退職手当(割増退職金)制度を廃止してはどうか。

答 総務課長 制度の廃止は、できるものと判断している。

ただ、国家公務員の退職手当が平成25年1月から9ヶ月単位の3段階で約15%、金額にして約4

00万減額されることが決定されている。

これに伴い、勤奨退職の条件、割増率等が拡充されており、その状況を見て慎重に対処すべきと考えている。

問 町三役・職員退職金比較表

役職名	在職	退職金
町長	4年	15,000,000円
副町長	4年	7,056,000円
教育長	4年	5,146,000円
職員	36年	20,000,000円
議員	4年	0円

※職員については平均値で計上している

総務課長 特別職の退職金は、組合

が定める「特別職の職員の退職手当の支給に関する条例」に基づき支給されており、それ以上の答えはできかねる。

問 副町長 組合会議には、市町長の他に職員代表も参加し議論しており、市町長のみで決めている。

問 町職員の再任用に関する条例が制定されているが、未だ1人も活用されていない。25年以上奉職された優秀な退職者の能力、技量、経験を活用しない手はないのではないか。嘱託職員と再任用職員では、職責、職務権限、熱意、意欲等が自ずと違う。再任

再任用制度の活用

答 総務課長 人事に定や自己申告書に基づき、適材適所に配置している。課長人事は、年々専門的な事務が増えている中、

用制度を活用すべきではないか。

答 総務課長 再任用は職員扱いとなり、嘱託職員の賃金より高くなるため、臨時職員や嘱託職員として雇用している。定年延長問題や他市町の動向を見極める必要があると認識している。

問 課長に若手を抜擢し人事効果を

合併後6年10ヶ月が経過し、職員の資質、能力、勤勉等の評定も掌握できたと思つた。年功序列型の年替り課長人事では、分掌事務や諸施策の方向性、継続性、一貫性に問題がある。

問 40歳代の抜擢による課長人事によりマルチ課長、政策通課長を発掘すると共に年功序列型人事に1石を投じる効果があるのではないかと思つた。

答 総務課長 人事に定や自己申告書に基づき、適材適所に配置している。課長人事は、年々専門的な事務が増えている中、

用制度を活用すべきではないか。

答 総務課長 人事に定や自己申告書に基づき、適材適所に配置している。課長人事は、年々専門的な事務が増えている中、

職員の再教育を

問 町の各種イベントに職員の不参加が多く見受けられる。地区役員が参加を要請しても「私には関係ありません」と拒否されるケースが多いと聞かれています。

答 総務課長 職員は縦割り行政の典型であり、かつ採用時の「宣誓書」を十分理解していない証である。

答 副町長 全体の奉仕者として初心にかえり、資質の向上、意欲改革に努める。

問 職員の退職者が合併後7年間で50人となり、うち早期(勤奨)退職者が19人(38%)となっているが、異常ではないか。

答 総務課長 本来、定年まで勤めていただくことが望ましいが、身体的、精神的な疾病や子育てあるいは親族の介護など、家庭的な事情により退職せざるを得ない理

定年退職者数・勤奨退職者数

年度	定年	死亡	勤奨	合計
18年	2人	0	4人	6人
19年	1人	1人	3人	5人
20年	2人	1人	1人	4人
21年	6人	1人	2人	9人
22年	5人	1人	1人	7人
23年	5人	0	6人	11人
24年	6人	0	2人	8人
合計	27人	4人	19人	50人

佐賀市町総合事務組合への退職手当負担金の増額は、町長、副町長、教育長の退職金が高額すぎるのが要因である。町長等の退職手当、年金も大幅に減額する時代ではないか。



多良 光英 議員

いじめ緊急調査。結果と対応は

【学校教育課長】認知報告はあっていない

問 文科省は、いじめ緊急調査を、すべての国公立私立の小中高校・特別支援学校に、今年4月～9月、把握した「いじめ」の件数を調査するよう通知された。

答 その結果、把握したいじめは、14万4千51件で昨年の2倍を超えた。また、命や身体を脅かす恐れのある重大ないじめは、278件で暴力を受けた子供が自殺をほのめかしたケースも報告された。県内の認知は138件であるが、町はどのような結果がでたのか。どこまで把握されているのか。

答 学校教育課長 対象期間中に起きた「いじめ」で認知された報告はあっていない。しかし、詳しい調査や解決に向けた取り組みが必要

と思われる事例があり、解消できたもの、指導を継続しながら、経過観察中のものもある。

いじめはどこでも起こるとの前提で、さらにきめ細かく把握できるように観察し、兆候をいち早くキャッチし、深刻になる前に芽を摘む事が最も重要であり、いじめ問題を顕在化させる意識を持ち続ける必要があると認識している。

問 いじめは、初期段階で見つけて、



▲校庭で遊ぶ児童(東脊振小)

対処がうまくいけばガンと同じくらい効果が可能である。時間が経てば経つほど困難になる。

他人に対する思いやりや、他者の立場や視点に立つという指導を充分に行うことが、いじめの撲滅のために重要であり、早期解決に向けた対策は、学校教育課長 国・県の方針に沿った取り組みを推進することにも、既に実施している対策会議での取り組みを継続し、小中合同会議に

問 巡回バスの状況と運行にかかる経費の削減や利用者増に向けての計画は。



▲巡回バス「さくら号」

答 企画課長 乗降客が少くないとの批判が多くH23年6月に利用者増に向け、路線・ダイヤ改正を行い、改正前は無料であった65歳以上も一律に運賃100円に変更。このことにより運賃収入が2倍以上増加。運行経費についても、日額の協定額の削減もしている。また、運行協議会を重ねており、来年の改

問 巡回バスに広告を掲載し、一定の収入を確保し、予算の削減に向け協議検討すべきでは。

答 企画課長 広告の内容・募集方法・料金の設定などの協議を行っている。具体的に進めていきたい。

問 8割が特別交付税として国から処置されているが、2割が町からの持ち出し、収入が増えれば予算の削減になる。

答 巡回バスに広告を掲載し、一定の収入を確保し、予算の削減に向け協議検討すべきでは。

大丈夫なのか？ 道路橋の老朽化対策は

【建設課長】現在は緊急に補修を必要とする橋はない



古川 勲 議員

問 建設課長 町道308路線のなかで、119の橋を管理している。

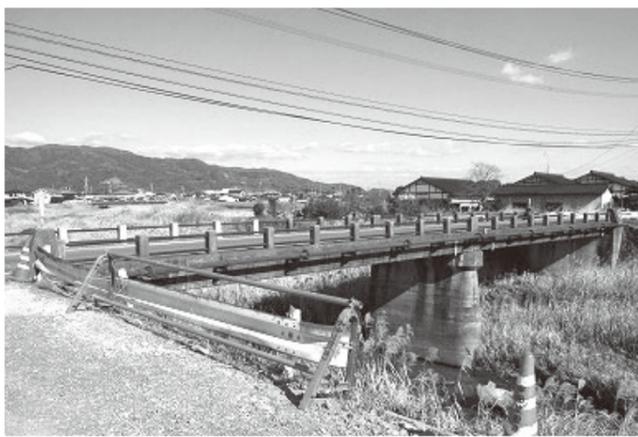
答 15以上の橋での緊急補修を要する橋は、ないということだが、全体ではどうなのか。

答 建設課長 15以上の橋18か所については、「長寿命化修繕計画」での本調査を行い、その他の橋については、簡易診断を実施した。下石動・上石動線の無名橋が目視で気になるので、25年度当初予算で補修を行う。

問 平成23年2月に策定した修繕計画のなかで、橋の経過年数が40年～43年経っている橋が4か所、また、総合評価300点満点で、2

00点以下の橋が1か所あるが、補修は必要としないのか。

答 建設課長 中央高速道路のトンネル事故を受け、長寿命化修繕計画策定時の橋の診断をした業者に再度確認し



▲町道永田ヶ里1号線の永道橋

だが、緊急補修をする橋でないことであった。

問 町道には15以上満の橋が101か所もあるが、簡易診断でなく、橋梁長寿命化修繕計画と同様の調査が必要と思うが。

答 建設課長 トンネル事故を受け、安全第一であるので、早急に調査を行うべく考えている。

問 長寿命化修繕計画に伴う補修費用財源などは、どのように考

ているのか。

答 建設課長 報告書によると、今後50年間の事業費が32億円と推定されるが、長寿命化修繕計画による予防保全型で対応すると15億円と、コスト削減効果が17億円見込める。

問 このことから、長寿命化修繕計画に基づき、補助率55%の社会资本整備総合交付金事業での整備を考えている。また、予防保全型事業により、耐用年数50年が80年に延ばすことができる。

答 建設課長 25年度から50年間の予防保全型事業を行っていく。また、町の財政負担は1千万円～5千万円の間で、毎年一定の財源を考えていきたい。

問 利用者に配慮した町の施設の改修

答 ①三田川庁舎の玄関口の喫煙室の煙の噴き出し口と東脊振庁舎の車イス利用のトイレの件

②三田川児童館の幼児用便器と手洗い場の件

③中央公民館のトイレの暗い・臭い・車イス対応の件及び東脊振農村環境改善センターの男女兼用トイレと車イス対応玄関・トイレの件

④さくら館の浴室・特浴施設利用の実態の件について質問をする。

町の施設を改修するにも、相当の予算が必要だ。将来的に活用する・将来は活用しない・すぐ活用しない施設の線引きをし、多数ある施設の長期計画を策定すべきと思うが。

答 町長 町施設の統合と長期改修計画の策定をし、利用者に配慮した町施設にしていきたい。



伊東 健吾 議員

25年度町当初予算計画は

新規、町づくり等の計画はどの様に、又今後の財政計画は、経常経費予算の一律カットについて。

財政課長 新規事業計画はありませんが、下水道統合計画など24年継続事業を計画しています。

経常経費率は、県内市町で一番悪く今後経費の節減を図り改善するよう努める。

また、経費の5%カットを各課に指示している。町内遊休地の利活用計画は、遊休地活用の新エネルギービジョン(光・水力・バイオ・等)事業実施計画の推進状況は。

企画課長 経済状況等悪く、事業効果等検討しているが、今は事業計画は進んでいない。

他市町では個人法人、組合等で補助期間内に色々な計画が実施されているが我が町の推進努力が足りないので。

企画課長 今後更なる計画検討を図る。

国営等土地改良事業賦課金、一工区、二工区、賦課金の軽減策は、一工区は決済金、7000万円充当で約3000万円額の負担軽減がなされるが、二工区は何も変わらない。二工区の負担軽減策は、(箱川地区)

農林課長 二工区地区が神崎市にまたがり今後調整しなければならぬ。

特定防衛施設関連町交付金の25年度予算は、基地隣接地に使用する計画あるのか。

企画課長 国の採択基準が厳しいが、地区要望や庁内各課の意見等を踏まえ有効な事業に取り組み。

仮称総合文化センター建設計画について、計画から6年が経過、建設構想すら決められない、類似既存施設の利用計画管理費削減計画等うち出せない。

又、建設場所について

も意見集約出来ず、子供交流館、生涯学習センター(中央公民館)、文化ホール、図書館、等の詳細なる計画推進は。

社会教育課長 平成25年4月以降、全世帯にアンケート調査等を行い、再度構想等検討し、建設場所、規模等をまとめ、29年までに完成するよう、努力する。

福祉課長 児童館的役割を持つ子供交流室計画は、吉野ヶ里町に一カ所良く、現三田川児童館は放課後児童教室に変更し利用する。

仮称吉野ヶ里町カントリー建設計画について、現有共同乾燥施設は三田川中部RC建設38年・東脊振南部RC31年が経過し非常に老朽化し、部品がない状態の施設もある。五施設ともにオペレーター等を含め先が見えない状況にある町のカントリー事業推進状況はどの様に指導されているのか。

農林課長 今年8月に会議を開催したが事業者の盛り上がりなく、現状では各RC受益者調整、加入同意、建設場所など多くのクリア要件があり、今後町も推進を図る。

国道34号建設60年が経過しても、今だ歩道がなく危険なポットが多くある。

佐賀国道工務事務所への早期改良工事要望等はどこまで進めたのか。

企画課長 私は担当していない。建設課長 現在担当課として、今年

はじめ要望書を佐賀国道工務事務所に要望した。若野交差点改善が終わり、今後、次の改良計画に取り込むよう要望する。



国道34号供用開始60年経過今も変わらず

町税収20億・予算規模毎年80億 借金財政が心配・経常収支比率県ワースト1

【町長】財政考え予算執行に努めます

町内のごみ収集回数は統一できないか

【町長】理解を得る必要がある



古川 輝英 議員

町内のごみ収集場において、南部地域の一部では、ごみステーションを設けず路上にネットを被せて集積している箇所がある。

半日、路上に集積したまま、駅前等は景観上問題があるので、ステーションを設けBOXを設置し収集すべきではないか。

環境課長 南部地域には、211箇所、所集積場があり、ネットを被せの収集場は、住宅密集地域に18箇所あるので、地域の事情もあるので、



▲ネットで被せてある収集場

地元と話しをしよう。

町のごみ収集力レンダーでは、4地区に分けられてごみを収集されているが、3地域は週2回である。1地域のみ週3回で収集されているが、どのような理由でなされているのか。

環境課長 旧三田川町時に決められ30年以上が、経過し習慣化している。

収集回数は、多い方が喜ばれるが、

回数を増やすと収集費用も増大し町の財政にも影響を与える。

現在、3地域では週2回で収集され問題も無く出来ているので、週3回の地域も努力すれば、週2回に出来るかと考えるので、週2回に統一できないか。

佐賀市を始め、東部地区の市町においては、すべて週2回である。

環境課長 今後、調査し地元と話しをしよう。

町長 旧三田川町時に決められているが、今後、経費の問題もあって、理解を求めていきたい。

背振クリーンセンターへの持ち込みごみ料金について、町隣市町並みの料金に、町

使用している計画あるのか。

仮称総合文化センター建設計画について、計画から6年が経過、建設構想すら決められない、類似既存施設の利用計画管理費削減計画等うち出せない。

又、建設場所について

も意見集約出来ず、子供交流館、生涯学習センター(中央公民館)、文化ホール、図書館、等の詳細なる計画推進は。

社会教育課長 平成25年4月以降、全世帯にアンケート調査等を行い、再度構想等検討し、建設場所、規模等をまとめ、29年までに完成するよう、努力する。

建設課長 川原橋南から東脊振南部ライスセンターまでの間が24年度に事業採択がなされました。



▲事業採択された385号

川久保・鳥栖線の整備計画の状況は。

建設課長 24年度に、東脊振中学校入口から中央橋までの間の事業採択がなされ、北側に歩道設置の道路改良が計画され27年度完成を目指している。その後、上峰町境までを要望していく。

畑刈交差点の改良計画は、どのような状況か。

建設課長 25年度に県道に接続している町道上石動・大曲線の工事を計画している。その時に畑刈交差点部分の改良もあるので、県に働きかけ、一緒に工事が

主要地区道佐賀川久保・鳥栖線の整備計画の状況は。

建設課長 24年度に、東脊振中学校入口から中央橋までの間の事業採択がなされ、北側に歩道設置の道路改良が計画され27年度完成を目指している。その後、上峰町境までを要望していく。

畑刈交差点の改良計画は、どのような状況か。

主要地区道中原・三瀬線については、車のスピード等問題が生じており、地区の協力を得ながら方線を決め基本設計を行っていただきたいが、現状は。

建設課長 地区も望んでおられるので、協力を得て同意書等を取っていただき早い時期に改良事業の採択要望を行っていく。

国道34号供用開始60年経過今も変わらず



国道34号供用開始60年経過今も変わらず

建設課長 国道34号の信号点滅時間を10秒から15秒に変更されているが、まだ渋滞の緩和に至っていない。

経常収支比率93.9%県下最悪 今後財政健全化に向けてどう取り組むのか

【財政課長】経常経費の節減に努める



中島 哲夫 議員

問 本町の経常収支比率が93.9%前年度比13.3%の増。県内20市町のうち県下最悪になった。その要因は何か、どの様に分析しているのか。

答 財政課長 平成18年度は93.5%、19年度は96.3%、21年度は94.8%、22年度は80.6%、23年度はワースト1位となった。内訳をみると人件費、負担金補助、借入金返済、特別会計への繰出金などが全体に影響した。

問 今後、税収の落ち込み、地方交付税の減などが予想され、町財政がひっ迫すると思われる。今後、財政健全化に向けてどう取り組むのか。

答 財政課長 経費節減のために補助金等の見直し、使用料の見直しなど検討し町費の負担を軽くする。

答 町長 経常収支比率を下げることは当然でありゆるる面でも努力する。又、下水道の公債費、維持補修費も繰出している、こういったものをいかに節減するか検討する。今回、経費節減も含めて浄化センターの統廃合を打ち出している。

問 観光振興について 平成23年九州新幹線が全線開通し1日上下100本が新鳥栖駅に停車している。吉野ヶ里公園駅にも上下各1本ではあるが特急も停車している。これらのことを本町の観光振興に結びつけていけないか、活用できないか。

答 商工観光課長 吉野ヶ里公園駅の乗降客は、平成22年約89万人、23年度約87万人。公園駅での特急の乗降客のデータは取られていない。町外の観光客が公園駅を起点に町内の観光スポットを周遊するには、駅からの2次交通が必要となる。今回、駅北口のコミュニティホールではレンタサイクルの運用が始まり、歴史公園への利便性が高



▲吉野ヶ里公園駅

くなる。歴史公園、温浴施設、観光農園を含め貸切バスでの駅を起点としたイベントが組めないか、検討し観光振興に努めたい。

問 現在の両公民館はどう活用するか。

答 社会教育課長 三田川中央公民館は本庁の行政棟に、農村改善センターの一部は放課後児童クラブに、町民集会所は解体すると考えられている。



▲三田川中央公民館

常任委員会研修報告

産業・文教常任委員会 研修報告

産業建設、文教厚生常任委員会は、10月16日・17日の2日間で、東日本大震災被災地である福島県桑折町をはじめ、宮城県女川町、南三陸町、気仙沼市と視察研修を行いました。

石巻、女川、三陸海岸沿線の途中、学校の運動場、公園であったであろう空地などには、がれきが山と積み重ねられています。被災されたままの家屋や廃校となった学校、鉄道の橋桁が無残に崩壊した風景は、報道などで見ると違い、込み上げるものがありました。

16日の研修地福島県桑折町は、福島原子力発電所から66km離れています。放射能被害にあっています。

吉野ヶ里町も、玄海原



必死に避難を呼びかけた防災対策庁舎

子力発電所から約60km前後離れた範囲に位置した所にあり、本町の参考になると思われ、建物、農作物におよぼす被害、対応、対策を研修で感じたのは、まず、被害状況、生活情報提供で、住民の方々に現状を把握してもらい、安心感を与える情報提供の重要性、必要性を学べたことです。



空き地、公園、運動場等に積まれているがれき



気仙沼市民、職員の心構え

2日目の研修地、気仙沼市は、平成23年2月末の人口7万4千247人、世帯数2万6千601世帯でした。

大震災により、平成24年9月30日現在、死者数1千38人、行方不明者251人、被災家屋2万5千971棟、全体家屋数の40.7%が被災しております。

気仙沼市は、震災復興計画のローガンとして「海と生きる」を掲げ、総合的な津波防災対策として、数十年～百数十年



地震による地盤沈下で海水が湧き出てくる

1人分の研修費用	町負担	18,300円
	個人負担	50,000円
	合計	68,300円

の津波に対して、海岸堤防の整備を必要とし、
① 就寝時の津波にも命が守れるまち
② 就寝中に津波から確実に逃げる事ができるまち造りを目指している。
最後に、東日本大震災に被災された皆様の、一日も早い復興をお祈りいたします。

